



はーとふる久留米

くるめ 福祉

平成
26年

10月号

No.152

赤い羽根共同募金	2
成年後見制度に関する事業を開始	3
広げよう こころのバリアフリー	4
ボランティア交差点	5
大規模災害被災地へ義援金を	6
たくさんの寄付をありがとう	7
「はーとふる補助」事業を募集	8

発行 久留米市社会福祉協議会 久留米市長門石1丁目1-34 ☎0942・34・3035 /印刷 多田印刷株式会社
「はーとふる久留米」は久留米市社会福祉協議会の愛称です。
<http://www.heartful-volunteer.net/> E-mail:heartful@kumin.ne.jp



10月1日から12月31日は、赤い羽根共同募金の運動期間です。

共同募金運動は、住民相互のたすけあいによる、地域福祉の推進を目的としています。そして、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民の多様な活動を財源面から支援する役割があります。共同募金に対する皆様からの寄付金は、主に久留米市内の福祉活動に活用されます。

「じぶんの町を良くする」赤い羽根共同募金運動にご協力をよろしくお願いいたします。



みんなでつくろう みんなのふくし

今年の久留米市の募金目標目安

赤い羽根共同募金

(10月1日から12月31日まで取り組む募金)

57,134,349円

歳末たすけあい募金

(12月1日から31日まで取り組む募金)

15,200,000円

幸せを

羽根にたくして

つなげよう

赤い羽根共同募金
10月1日～12月31日

共同募金運動について
お礼とお願い

赤い羽根共同募金運動に、毎年、市民の皆様のご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。
赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉活動を財源面で



支えていく重要な役割をはたしており、地元地域の福祉活動に活かされる寄付金です。
今年も10月1日から12月31日までの3か月間、各地区における戸別募金を始め、街頭募金やイベント募金、そして事業所の協力による募金など、募金運動を積極的に展開しますので、ご協力をよろしくお願いたします。

【問合わせ】
共同募金会
久留米市支会
(市社会福祉協議会内)
☎ 0942・34・3035(代)

共同募金に対する「ありがとうメッセージ」

共同募金を活用して事業を実施した団体からメッセージが届きました。

久留米ことばを育てる親の会

今回、共同募金の配分金をいただきまして、NPO法人ことり理事長今村亜子先生を講師にお招きして、学習会を行いました。

「読み書き」に困難さをもつ子どもへの配慮や支援の方法、子どもの困り感を少しでも軽くするために周りの関係者が連携をもつ事の重要性など、多くのことを学ぶことができました。

今回、広報くるめで地域の皆様へ参加を呼びかけましたところ、多くの人に参加いただけました。

これからも、このような学習会・講演会を行うことで、言語障がいへの理解を呼びかけていきたいと思っております。共同募金の配分金をいただいて事業を行うことができました事を、感謝をもって報告させていただきます。